

在校生～保護者～OB 世代間 交流プロジェクト

## 第23回「三世代をつなぐ駒カフェ」開催の報告

第23回「三世代をつなぐ駒カフェ（保護者対象）」が、2023年5月27日（土）13時から15時まで、第1会議室にて、対面で開催することができた。今回の「駒カフェ」は、新中1生の保護者2名から参加予約の申し込みをいただきましたが、当日は、1名の方が体調不良により不参加となり、参加者の1名は、最初は緊張感があったようですが、徐々に駒場東邦の自由な学校生活などの会話が進み、あっという間の2時間が過ぎ、閉会後にはちょっとすっきりしていただけたかなとスタッフは感じている。

### **参加者の感想**

- ① 「駒カフェ」って何？ の小冊子と BLEND 配信の募集チラシをみて参加を決めました。7回生の先輩方とゆっくりお話しさせていただき、大変贅沢な時間でした。最初は大勢の先輩方との人数比に圧倒されましたが、お話しが進むうちにとっても気楽に話せるようになってきました。7回生の方々の仲の良さを見て、息子も生涯繋がる友人をこの学校で見つけられるといいなと思いました。卒業生お母様からの各種情報も大変有意義で助かりました。体育祭や中間考査や制服のことなど、学校や先生に問い合わせるほどのことでもない細々とした疑問点について、あっという間に解決していただきました。息子も私も、新しい学校での生活で緊張していましたが、皆様から無理せず息子のペースで進んでいくように励ましていただき、肩の荷が下りました。息子の登校渋りの背景にある家庭状況等、これから担任や学校サイドに折を見てお話ししなくてはと思っていたことを、先に駒カフェでお話しすることで整理することができました。これは参加者が他にもいらっしやたらできなかつたことなので、大変ありがたかったです。帰宅してから、駒カフェ冊子を見返して、本日お話しさせてい



いただいた方々のプロフィールを読み直しました。卒業生お母様を含め、錚々たる経歴の方々だったことを再認識しました。是非今後、皆様の特化した分野について、それぞれお話を伺いたいと思いました。私個人の反省点として、カウンセラーやSSWさんがいらっしゃるということで気が緩み、うっかり医療や療育関連の専門的な支援者にお話しするペースでしゃべってしまいました。それでも、淡々と対話を続けてくださった皆様の器量の大きさが、人生の経験値なのか、駒東の校風なのかは分かりませんが、ありがたかったです。広くてきれいな会議室で、じっくり話を聞いていただいたり、7回生当時の楽しく自由な学校生活をお聞きしたり、あっという間の2時間でした。色々ご準備と片付けなど、ありがとうございました。息子に、6月か7月の回への参加を勧めてみます（部活動と重なっていないといいのですが）。私は、次回の保護者対象の回を楽しみにしています。

- ② 先日は駒カフェに参加できずに申し訳ございませんでした。またお忙しい中をお見舞いのメールまでどうもありがとうございます。毎日、試行錯誤しながら息子と向き合っております。迷いだらけの日々のためご相談させていただくこともあると思います。息子は憧れだった駒東に入学し、とても楽しく過ごしています。今は初めての中間テストを前に焦ってはおりますが、わからない所は先生方やクラスメートに質問しながら本人なりに頑張っております。この度のお心遣いに変感謝しております。駒カフェの皆様にもどうぞよろしくお伝えください。今後とも親子でどうぞよろしくお願いいたします。

## **OBスタッフの感想**

- ① 今回は保護者の方、お一人の参加でしたが、駒カフェの存在意義を改めて認識させられました。すなわち、駒東生やその保護者の方は、日常的に、いろいろな疑問、悩み、相談したいことなどを抱えながらも、先生方やカウンセリングルームでは、帯に短し襷に長し的な感じで適当な持って行き場が見つからないような状況で、駒カフェはその受け皿の一つとして有効ではないかと感じました。こうした駒カフェの活用法が、うまく浸透してくれることを願っています。また、今回は、保護者OGスタ

ップの存在が光った印象であり、駒カフェの新たな在り方が開かれたように感じました。今後は、司会進行などの運営スタイルを整理し、新たなスタッフが参加してもスムーズに入れるような工夫が必要ではないかと思いました。

- ② 今日、中学1年生の保護者の方がお一人いらっしゃいました。ご息は、新しい「場(駒東)」で初めて見る景色に圧力を感じて戸惑っているとお話しでした。これは圧力というより、自分自身が更に一段成長する「場」に着いたという事だと思います。これから先、大学、社会という更に大きな段差を乗り越えていく為の試練の始まりだと思います。お話をお伺いした限り、本人は苦勞しながらでもこの試練を乗り越えていくでしょう。そして次の試練に向けて学んだ事を自分の今後の武器になるよう努力していってくれたらと願っています。知らないという事を知らない事に会おうと、人は戸惑うものだと思います。しかし、社会へ出れば、これは日常茶飯事で、効率良く乗り越えていかなければなりません。知らないという事を知らない事を少しでも多く減らしていく事、これが自己成長の重要な源の一つだと思っています。そして、知らない事を知らない事を減らして行く為の有効な手段、方法の一つは、人との繋がりです。人は、情報の塊であり、一人一人の情報量には限界があります。そこで、"know who"です。繋がる事によって分業体制ができて、更に、そこで化学反応が生じれば新しい知も生まれてきます。そしてこの繋がりを、多様性を維持しながら拡大していく事が、初めての事に触れても、その圧力に負けずに進歩していく力となります。知らない事があると知る事、知らない事を知る事は、とても大切な事だと思います。

- ③ これこそ、わたしの求める"駒カフェ"のあり方と感じました。集った人たちが好き勝手にちょっかいを出すのですが、みんな少し控えめで、耳を傾ける。話手は最低限、話すことで、共有されたことで、仲間が成立し、たとえ、ある種の反論が提示されても、落ち着いて、逃げ出さずにそこに留まる事が出来る。そんな場の空気があつたと思います。このメンバー構成は、なかなか意図

して出来るものではないのですが、大事にしなければならないとつくづく思う次第です。今後とも、よろしく申し上げます。


- ④ 今回は保護者対象の駒カフェ。申し込みは二名だったがお一人が体調を崩して一名の参加。お一人に老人たちが囲んで・・・と思い はじめ私たち何人かは遠くから眺めていた。半時もした頃私たちも参加。危惧したことは起こらず実に和やかに話がすすんだ。中一のお母さまはとても知的な方で話が整然として要を得ていた。三兄弟の一番下が駒東一年生。入学して二か月体育祭を経験してこれから初めての中間テスト。学校への生き渋りが気になっているとのこと。スタッフも各々いろいろ話したが私が嬉しかったことは二点。一つは彼が体育祭で高3たちのパフォーマンスの例の気合い入れてビビって体育祭の練習に出たくないと言った。お母さんが保健室の先生に相談したら、「体育祭の練習に出たくないときは無理していくことはない。」と言ってくれたとのこと。彼は涙を流して喜んで話した話。いい話だと思った。彼がこの一言でどんなに救われたことか。どんなことでも受け取り方は各々だ。絶対的にいいことなどはないということを私たちは肝に銘じておこう。もう一つは『駒カフェってなんだ?』の冊子を褒めてくれたこと。「この冊子は読みごたえがあった。駒カフェ参加の理由のひとつはこの冊子。全校生徒・保護者にも配布すればいい」と。冊子を編集した私にとってありがたい言葉であった。その他たくさんのことを教えてくれた駒カフェだった。

- ⑤ 新入生に配布した「駒カフェ」の紹介冊子を見られて、ご参加いただいたことは、嬉しいことでした。「足跡」をイメージする表紙と厳選された感想文は、心を繋ぐ編集の成果だと、尊敬の念を持ちました。残った1つの疑問は、なぜ右足の靴が3足なのかでした。新たな駒東生活に1年生は、そのうち慣れるとしても、気になることや戸惑いは、多々あるものです。今回は気軽な相談の場としての「駒カフェ」になったと思います。新入生にとって、生活環境が大きく変わる中で、「駒カフェ」の役割は大きいと感じました。参加者が一人でテーブルに着く、複数人で一つのテーブルを囲むなど、参加者の期待や要望に答える運営を目指したいと思います。

- ⑥ お母様はご息たちのことをとても注意深く愛情を持って見守っていらっしゃる印象です。兄弟の心の動きや健康状態に非常に細やかに反応されて素早く対応していることに感心しました。お兄さんのことで経験されたことから、駒東では、カウンセリングだけでなく、駒カフェとも繋がっていたいというお気持ちを正直に話されていたことが印象的です。それを冷静に、かつ、あたたかく受け止めていたOBスタッフの共感力にも私は感心していました。カウンセリングとは違う駒カフェの意義を改めて感じた日でした。

\*\*\*\*\*

- 駒カフェの開催報告をご覧になって、興味を持ち、参加してみようかと思われた方は、下記に記載の運営事務局までご連絡願います。次回以降の駒カフェ開催案内をメールで送らせて頂きます。

- 本校のホームページで、「駒カフェ」のバナーを  クリックすると、駒カフェの情報を見ることができます。

### **【2023年度 第1学期の予定】**

第24回（在校生対象）2023/6/17（土）13：00～15：00 **第2会議室**

第25回（在校生対象）2023/7/15（土）13：00～15：00 第1会議室



「三世代をつなぐ駒カフェ」運営事務局

代表 黒岩 誠（駒場東邦7回生/前スクールカウンセラー）

平野 勲（駒場東邦スクールカウンセラー/前校長）

連絡先 komacafe1540001☆gmail.com

☆を@に変えてください。

駒カフェ  でお会いしましょう！